

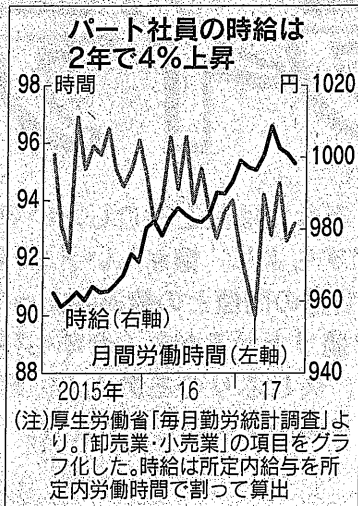
パート社員の時給増が
流通や外食業界の人手不
足に拍車をかけている。

税や社会保険料の負担で
優遇される目安の103
万円や106万円といっ
た「年収の壁」に届きや
すくなり、働く時間を減
らす人が増えているため
だ。働き方改革で正社員
の残業による穴埋めも難
しくなり、営業時間見直
しを迫られる店も出てき
た。

「この2年で時給が1
00円くらい上がった。
以前は月に17、18日働け
たが今は14日くらい」。
横浜市のスーパーで働く
女性(55)は話す。時給
は980円。同じ店で12

「年収の壁」自ら働く時間減

パート時給上げ 思わぬ人手不足



流通や外食、営業時間の短縮も

年働くミテランだが夕方
や夜間など人手が足りない
時間をシフトに入れな
い。時給が上乘せされれ
ば社会保険料で自己負担

が生じる年収106万円
を超えてしまったためだ。
1年の前半に働き過ぎ
年末にかけて週4日の勤
務を3日にした同僚もい
る。職場は人材派遣を利
用しながら何とか業務を
回している。
厚生労働省の統計によ
ると、卸売・小売業で働
くパート社員の時給は2
017年1月から100
0円前後で推移する。2
年前から4%ほど高い。
一方、17年平均の月間労働時間は92時間で2年前から3%減っている。時給が1000円の場合、週4回、1回5時間の勤務で、世帯主の配偶者控除(特別控除)が減り所得税の負担が重くなる年収103万円を

超える。年末にボーナスを出すと、辞退する人さ
えいる(大手スーパー)が多い」と話す。
時給を上げない待遇改
善で、労働時間を確保す
る動きも出始めた。オリ
ックスはパート社員向け
退職金制度の導入を企業
に働きかける。
同社の「選択制確定給
付企業年金」はパート従
業員が報酬の一部を任意
に積み立て、退職時に企
業の負担分を加算した金
額を受け取る仕組み。月
々の収入を減らして年間
の労働時間を増やせる。
ドトールコーヒーが9
月に導入し、ビアホール
運営のキリンシティ(東
京・中野)も近く取り入
れられる。大阪市の原則毎日
増がパート社員の勤務時
間は抑制する状況はす
ぐらに解消しなさをうた

日にした。店舗の求人サ
イトでは「日曜休みで主婦
さんも働きやすい」な
どとうたつた。
配偶者控除が減額する
基準は2018年、10
3万円から150万円に
引き上げられる。ただ配
偶者がいる社員に「配偶
者手当」や「家族手当」を
支給する企業では、条件
を配偶者控除に合わせ
て103万円以下としてい
ることが多い。社会保険
料の自己負担基準となる
106万円や130万円
の壁を意識するパート
社員も少なくない。時給